

国際教育棟

International Education Building



旧職員宿舎を、1～3階は「教育施設（日本語教育支援センター）」、4～5階は「日本人学生と外国人留学生の混住型学生宿舎」へとコンバージョンし、外国人留学生や日本語を母語としない外国人児童生徒へ「日本語教育」を施す機能を創出した。また多文化交流ができる和ダイニングや、日本文化を学び身につけられる和室などを備え、木質系や市松模様により和の空間を創出した。



南側外観



国際教育棟

延床面積：1,425 m²

構 造：鉄筋コンクリート造
一部鉄骨造（5F）

設計期間：H31年3月～R1年7月

工事期間：R1年9月～R2年3月

基本設計：愛知教育大学施設課

実施設計：（株）内藤建築事務所

工事監理：愛知教育大学施設課

施 工：角文（株）

BEFORE

AFTER



北側外観



BEFORE

AFTER



和ダイニング

5F



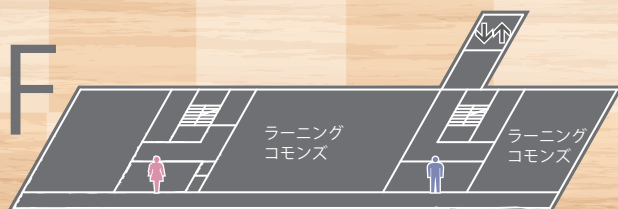
4F



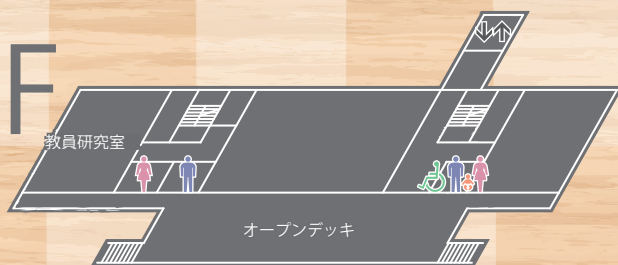
3F



2F



1F



4・5F

混住型留学生宿舍

既設の学生寮にはない身障者対応に配慮したユニバーサルデザイン（バリアフリー）を採用し、シェアハウス型の特性を生かしてルームメイトと助け合いながら生活できる環境を設けた。4階が男性専用スペース、5階が女性専用スペースとなっており、防犯対応にも配慮している。



3F

ダイニング



3階から5階の各階にダイニングを設置。特に3階の和ダイニングでは、国を越えた多文化交流ができる場として、アイランドキッチンや畳を使用した小上がりを設けた。4・5階のダイニングは、コミュニケーションを取りやすいように、照明や内装も明るく和やかな雰囲気とした。

1-3F

教育エリア

1階から3階まではラーニングcommonsや和室を配置。什器の色合いも和を意識した淡い色を多く採用。机・イスの配置換えも簡単に行うことができ、利用目的によって部屋の使い方をフレキシブルに変えることが可能である。



ラーニングcommons

ラーニングcommons

全体

ユニバーサルデザイン

1階にはベビーチェアも設けた多目的トイレ、4・5階には車椅子対応トイレを設置。また廊下や部屋と部屋の間の段差を、極力緩やかなカーブにするなどして無くし、ユニバーサルデザインを多く取り入れた。



多目的トイレ

廊下

全体

和を感じるデザイン

日本の伝統的な設え（しつらえ）と素材・色調を取り入れ「和」を体感できる空間として和室を設置。また日本古来から縁起が良いとされ広く使われてきた市松模様をポイントとして建物全体に配置した。伝統的意匠を取り入れつつも、現代的な洗練された雰囲気となっている。



和ダイニング

和室